

到達目標	①日本史研究の方法と視角を身に付ける。 ②史料読解を通じて問題発見能力を養う。 ③史料読解に必要な工具（辞書や注釈書）の活用方法や技能・知識を習得する。
------	--

内容・項目		レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
史料読解	書き下し文の正確さ	意味内容を踏まえ、漢文読解の基本ルールを守って適切な書き下し文を作成している	左記について、おおむねできている	左記について、やや不十分である	左記について、不十分な点が目立つ	左記について、全く不十分である（漢文読解のルールを無視し、不正確な書き下しをしている）
	解釈の正確さ	語句の意味を調べ、適切に選択しながら解釈している	同上	同上	同上	左記について、全く不十分である（語句の意味を全く考慮せずに解釈している等）
研究方法の修得	辞書の使用	『日本国語大辞典』『大漢和辞典』『国史大辞典』等の適切な辞書を用いている	同上	同上	同上	左記について、全く不十分である（インターネットなど出典が詳らかではない辞書を使うなど）
	研究論文の探索	発表史料に関わる重要な研究論文を探索し、整理することができる	同上	同上	同上	左記について、全く不十分である（史料的裏付けのない論文を無批判に使用している）
	史料の探索	発表テーマに関係する史料を自ら探索し、提示できている	同上	同上	同上	左記について、全く不十分である（関係する史料をひとつも提示しない等）
論理的思考	先行研究のまとめ	先行研究を、単なる羅列ではなく、体系的にまとめている	同上	同上	同上	左記について、全く不十分である（先行研究を調べることができない）
	課題の提示	先行研究や史料を読み込み、研究史上の論点を整理したうえで、自ら追求する課題を提示できる	同上	同上	同上	左記について、全く不十分である（自力で課題設定ができない）
	史料的根拠を示した説明	自分の意見を史料を用いて説得的に説明している	同上	同上	同上	左記について、全く不十分である（自分の意見の根拠となる史料を提示しない）
受講態度	発表時・質疑応答時の態度	発表時・質疑応答時に適切な言葉遣い・態度ができている	同上	同上	同上	左記について、全く不十分である（適切な言葉遣い・態度ができない）
	質疑への参加	発表を聞いて、疑問に思ったことを質問できる。質問に対して適切な回答ができる。	同上	同上	同上	左記について、全く不十分である（発表に対して無関心である等）
	予習の有無	史料の書き下し文を作成して授業に臨んでいる	同上	同上	同上	左記について、全く不十分である（予習をしていない）